

財団法人日本エスペラント学会

2010年度事業報告

**【はじめに】**

本事業報告は、2011年度の新法人（一般財団法人日本エスペラント協会）への移行準備として、新法人の定款案にそった事業項目により記述してある。なお、財団法人の寄付行為との対応を別表1に示す。

**【1】エスペラントを用いた国際交流事業**

**【1. 1】概要**

日本と外国のエスペランチストが国内外で交流する機会を提供した。本事業は、特に本会が世界エスペラント協会（Universala Esperanto-Asocio, UEA）の日本における国別代表組織としての役割であることを考慮して推進した。

**【1. 2】事業**

1. 国際的なエスペラント事業に参画し、またエスペランチストの参加を促した。
  - (1) 第6回アジアエスペラント大会（6月19日～23日、モンゴル・ウランバートル）に参加旅行団（16名参加）を企画し、現地で交流を図るとともに、世界エスペラント協会アジアエスペラント運動委員会（KAEM）委員長を参加させKAEMの事業に協力した。
  - (2) 第95回世界エスペラント大会（7月17日～24日、キューバ・ハバナ）に参加旅行団（20名参加）を企画し、現地で交流を図るとともに、世界エスペラント協会（UEA）委員2名（代理）を参加させUEAの事業に協力した。
  - (3) 第66回国際青年大会（7月24日～31日、キューバ・ロスココス）や第29回日韓中青年セミナー（12月18日～20日、ベトナム・ハノイ）に参加の青年たちが現地で交流を図った。
  - (4) 第97回日本エスペラント大会（10月9日～11日、長崎）でアジア活動、UEA代議員、国際民宿網の分科会を主催した。
2. 国際文通サービスを継続した。
3. 国際的なエスペラント行事を日本で開催するため、エスペラント国際会議招へい基金の運用を開始した。
4. 青年エスペランチスト国際行動基金については規程を一部改定の上、利用者を募集した。

**【2】エスペラント普及事業**

**【2. 1】概要**

エスペラントを国内に普及する事業を、国内エスペラント団体と連携して実行した。また、エスペラントの認知度を高めるために、諸行事やインターネット等を通じて情報提供を行った。

**【2. 2】エスペラント活動推進事業**

1. 第97回日本エスペラント大会内で、10月9日、維持員会支部・エスペラント会懇談会を開催し、講習会開催についての情報交換を行った。（維持員会支部代表者会を兼ねる）
2. 「エスペラント運動年鑑」を作成し、会誌8-9月号に掲載した。
3. 講習会情報を収集し広報に活用した。
4. エスペラント関連事業を後援した。別表2参照。
5. 優れた活動を行ったエスペランティストに対する小坂賞を忍岡守隆、忍岡妙子夫妻に授賞した。

**【2. 3】エスペラント広報事業**

1. 本会のウェブページにて、エスペラントに関する迅速な情報提供を行った。全国各地の講座・講習会・展示会・講演会等を含むエスペラントの行事やニュースなどが主な内容である。
2. マスコミ向け広報紙「エスペラント通信」を4回（4月、7月、10月、12月）発行し、マス

コミ約140社に配布した。

3. 10月2日、3日に東京都の日比谷公園を会場として開催されたグローバルフェスタ2010に出展し、広報活動を行った。

### 【3】 エスペラント雑誌の刊行事業

#### 【3. 1】 概要

月刊誌を発行した。

#### 【3. 2】 事業

1. エスペラント学習・普及誌「La Revuo Orienta／エスペラント」(ISSN 0035-4406)を刊行した。A5判40ページを基本として11回(8-9月は合併号)。同誌の音声版を視覚障害のある会員や高齢で本が読みにくい会員に発送した。本会会員限定でインターネット上で同誌のPDF版を公開した。点字版の発行に協力した。

### 【4】 エスペラント図書の出版・頒布事業

#### 【4. 1】 概要

エスペラントに関する図書出版活動を行った。また、内外のエスペラント書籍および雑誌を頒布した。

#### 【4. 2】 エスペラント図書出版事業

1. 第97回日本エスペラント大会記念出版として、遠藤周作著、土居智江子訳の”Silento”(『沈黙』の訳)を10月に発行した。ISBN978-4-88887-066-5、本体価格1300円。
2. 同大会を期に、深堀義文、勝田基平、盛脇保昌、島田素直著『117年間のラブレター—長崎とエスペラント』を10月に発行した。ISBN978-4-88887-067-2、本体価格800円。

#### 【4. 3】 エスペラント図書頒布事業

エスペラント関連書籍の販売、取次ぎを行った。海外のエスペラント雑誌の購読を取次いだ。

### 【5】 エスペラント研究教育事業

#### 【5. 1】 概要

エスペラント学習者の語学力向上に資する事業およびエスペラント語学の振興を図る事業を行った。北杜市内の八ヶ岳エスペラント館は研修施設として活用した。

#### 【5. 2】 研究教育本部事業

1. エスペラント学習者の語学力向上を支援し、エスペラント指導者の育成を行った。
  - (1) 第43回エスペラントセミナー(5月2日～4日、千葉市国際能力開発支援センター)を48名の参加で実施した。
  - (2) エスペラント中級セミナー2011(2011年2月12日～13日、東海市立勤労センター)を20名の参加で実施した。
  - (3) エスペラント学力検定試験を実施した:5月4日(千葉市)で4級を3名受験,10月9日(長崎市)で2級を3名受験,3級を1名受験,4級を2名受験。また、「新学力テスト」を実施した:5月3日(千葉市)で6名受験。
2. 学校におけるエスペラント授業の支援として「学校へ緑の風を」基金を活用して、冊子『国際語エスペラントへの招待』を高校2校に20冊,中学校2校に51冊,計71冊を贈呈した。
3. 教材として、「新教材企画委員会」により入門講習会に相当するレベルの教材セット(解説+練習問題多数)の見本版を作成し、日本エスペラント大会で意見を募った。
4. 図書館関連事業をボランティアの協力を得て推進させた。
5. 紀要編集委員会が紀要「エスペラント研究／Japana Esperantologio」(ISSN 0918-5895)の第4号を編集し、発行した。

6. 研究発表会を第97回日本エスペラント大会内で開催し、その成果を他の発表とともに『2010年度日本エスペラント学会研究発表会予稿・小坂賞資料集』として発行した。
7. 出版のための喜安基金は、資金を貸与し、次の書籍を出版させた：岡村民夫・佐藤竜一著『柳田国男・新渡戸稲造・宮沢賢治ーエスペラントをめぐって』，貸与申込者：佐藤竜一，貸与額10万円。
8. 公開シンポジウムについては、第47回シンポジウム委員会にて、今後のシンポジウムの計画について検討した。

### 【5. 3】ハケ岳エスペラント館事業

1. 利用：4月9日より11月13日まで開館して、延べ266名の宿泊利用があったが、目標とした400名の利用には至らなかった。
2. 運営と管理：ハケ岳エスペラント館運営委員により運営し、自主的に宿泊利用ができる利用ライセンスの取得者は新規、再度を含め7名であった。建物の修理などを行い、館の管理保全に務めた。
3. 主な研修行事：8月にNur-Esperanta Kunvivado（14名参加），共催行事として関東エスペラント連盟の合宿（4月，16名参加）を行った。また、館内の展示を一新し、アジアエスペラント大会，世界エスペラント大会で集めた平和メッセージの展示，世界の人形の展示などを行った。

### 【6】エスペラント大会主催事業

#### 【6. 1】概要

日本エスペラント大会を主催した。

#### 【6. 2】事業

1. 第97回日本エスペラント大会（共催）を開催した。10月9日～11日，長崎市の長崎ブリックホールにて，参加396名。
2. 第98回日本エスペラント大会を2011年10月7日～9日に韓国・ソナム市で，第43回韓国エスペラント大会と共同で開催するために，日韓共同開催エスペラント大会組織委員会で準備作業を行った。本件では韓国エスペラント協会（Korea Esperanto-Asocio, KEA）と協力して作業にあたった。
3. 第99回日本エスペラント大会を2012年10月6日～8日に札幌市で開催するため，現地組織委員会とともに準備に着手した。

### 【7】その他前条の目的を達成するために必要な事業

#### 【7. 1】エスペラント会館活用事業

東京都新宿区早稲田にあるエスペラント会館1，2階をテナントに貸与した。3階会議室，4階教室を時間貸しした。

#### 【法人管理に関わる事項】

#### 【特記事項】

公益法人改革に対応し，2011年度に新財団に移行する準備を財団移行検討委員会を中心に行なった。新組織の形態・名称を一般財団法人日本エスペラント協会とし，エスペラント名称をJapana Esperanto-Institutoのままとすることを決めた。

#### 【業務の実施】

1. 総務部：事務局を指揮して庶務を実行した。
2. 財務部：本会事業の執行を財務面から支えた。堅実な財務運営を図り，ほぼ収支均衡とした。
3. 組織部：会員状況を把握し，会員の拡大を働きかけた。財団移行のため，団体会員規約案を作成した。

4. 広報部：ウェブサイト（<http://www.jei.or.jp/>）やメーリングリストを管理した。

**【処務】**

1. 会議（場所は記載のないものは東京都新宿区の本会会館にて）

(1) 理事会：5月23日，8月28日（郵便開催），9月12日，10月1日（郵便開催），12月5日，1月16日，3月20日に開催。

(2) 評議員会：5月23日，9月12日，3月5日（郵便開催），3月20日に開催。

(3) 常務理事会：4月25日，8月29日，11月14日，2月20日（拡大常務理事会）に開催。

(4) 維持員会総会：10月11日（長崎市，第97回日本エスペラント大会内）。

2. 会員（財団法人の維持員）：2010年期末で1,194人。

3. 寄付金の受入れ

寄付の目的	寄付者	申込金額	領収金額
エスペラントセミナーオ	1人	2,200円	2,200円
グローバル・フェスタ	2人	50,000円	50,000円
八ヶ岳エスペラント館運営資産	283人	689,030円	689,030円
終身会員	1人	250,000円	250,000円
一般	32人	6,650,425円	6,650,425円
計			7,641,655円

4. 理事，評議員改選

1月に2011年度の理事12名，監事2名が選任された。また1月に2011年度の評議員13名が選任された。

**【別表1】 財団法人寄付行為第3条による事業区分との関連**

(1) 研究調査及其の発表：新区分の【5. 2】中の研究調査などの項目。

(2) 講演会及講習会の開催及其の後援：新区分の【5. 2】中の講演会などと【5. 3】，【2. 2】中の講演会などの後援，【6】の大会主催。

(3) 雑誌及図書等の刊行：新区分の【3】，【4】。

(4) その他の事業：新区分の【1】，【2】，【7】。

**【別表2】 事業後援の一覧（【2. 2】4項に関して）**

- ・（件名：開催日，開催場所の都市名，主催者）
- ・第27回エスペラント春の一日公開講座：4月17日，新宿区，都区内エスペラント会連絡会
- ・第23回みどりの学校：5月1～5日，長野県高遠町，みどりの学校実行委員会
- ・遠野物語出版100年記念公開講座：5月16日，盛岡市，イーハトヴ・エスペラント会
- ・第18回エスペラント入門講座：5月19日～7月21日，福島市，福島エスペラント会
- ・第59回関東エスペラント大会：6月5～6日，調布市，関東エスペラント連盟
- ・エスペラント入門講習会：9月4日，京都市，京都エスペラント会
- ・エスペラントの国際大会参加体験報告会：9月4日，新宿区，ロンド・コロノ
- ・第11回中国・四国エスペラント大会：11月6～7日，東かがわ市，徳島エスペラント会，香川エスペラント会，東かがわエスペラント協会主催，中国・四国エスペラント連盟共催
- ・第51回東北エスペラント大会：11月6～7日，盛岡市，東北エスペラント連盟，イーハトヴ・エスペラント会
- ・エスペラント無料2日間集中講座：11月23日，27日，新宿区，ロンド・コロノ
- ・国際共通語エスペラント初級講習会：①2011年1月13日～3月31日の木曜日，②2010年12月～2011年3月の土曜日，新宿区，ロンド・コロノ